

校長室だより

第4号

柏原市立柏原中学校
校長 石田 智
令和6年6月11日（火）発行

○3年生修学旅行

先週6月4日（火）～6日（木）にかけて、3年生は長崎方面に修学旅行に行ってきました。78期生は、これまでの校外学習では常に悪天候に見舞われたと聞いていたので、それがとても心配でしたが、結果として3日間一滴の雨に遭うこともなく好天に恵まれました。そして参加者全員が大きな怪我や体調を崩すことなく、元気に全行程を終えることができました。

それでは、ここで3日間を振り返ってみます。

（1日目）

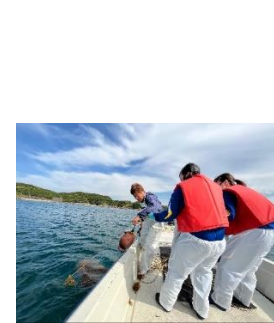
生徒集合は早朝の午前6時でしたが、時間どおりに集合ができ、柏原駅に向けて出発しました。新大阪駅までは在来線の利用ということで、通勤・通学の方でひしめく電車内を無駄話せずマナー良く過ごしていたことに感心しました。新幹線に乗り博多駅まで行き、その後はバスに乗り換え午後2時過ぎに長崎に到着しました。まずは原爆資料館内のホールにて被爆体験の聞き取り学習でした。会場に入るや否や座席に備え付けのテーブルを出し、筆記用具を用意して臨むなど、生徒たちの思いの強さを感じました。約1時間のお話の間、誰一人として雑談することなく聞いていたことを語り部の小峰さんも大変感心されていました。その場で平和セレモニーを行った後、浦上地区の平和フィールドワークに出かけました。少し時間が押していましたので、予定していた訪問先に行けなかった班もありましたが、協力してゴールまで辿り着きました。宿舎に入り、入館式の後はお楽しみの夕食でした。長崎名物がたくさんテーブルに並び、ご飯もたくさんお代わりをしていました。入浴を済ませた後には大広間にてレクリエーション大会が行われました。体育委員が工夫を凝らして考えたゲームを全員で楽しみ、78期生のまとまりのよさを感じたひとときでした。その後は就寝準備をし、午後10時30分に消灯して1日目の行程を終えました。



（2日目）

前日に続き午前6時15分という早い起床時間でしたが、生徒たちは時間どおりに起きて出発準備を済ませ、朝食をとりました。食後は退館式を終えバスに乗り込み、班ごとに分かれて長崎市内フィールドワークに出発しました。異国情緒あふれる長崎の町を班の仲間と市電に乗るなどしながら散策し、昼食は中華街などで事前に決めておいたお店でとりました。比較的観光客が少なかったのも、長時間待つことなく食べることができて良かったです。午後12時15分にバスの駐車場に全員が集まり、体験学習に向けて移動しました。ここからはクラスごとに異なった地域での活動になります。4つの地域に分かれ、インストラクターの方（時にはバスの運転手さんや添乗員さんも）のご指導の下、約3

時間さまざまな体験（港釣り、船釣り、かご漁、たこ漁、刺し網漁、川釣り、よもぎ餅作り、じゃがいも栽培）をさせていただきました。体験を終えるとクラスごとに集合し、お世話になる民泊先の方との対面式を行いました。そして民泊先の方々の車で、各家庭に分かれていきました。これ以降は教員が様子を見に行くことはできませんでしたが、翌日に生徒たちに聞いてみると、どの家庭でも家族のように温かく迎えていただき、とても楽しかったとのことでした。



（3日目）

生徒たちは民泊先で朝食を済ませ、午前9時前頃からクラスごとに集合し、再び体験学習を始めました。昼食も兼ねているということで全て料理に関する体験となっており、ちゃんぽん、押し寿司、巻き寿司、田舎料理、魚おろし、さつま揚げ、そば打ちに分かれて作業に入りました。どのグループも上手にできあがったのですが、民泊先で朝食をたくさんいただいた生徒が多く、食があまり進まなかったのが少し残念でした。昼食後の退村式では、お世話になった民泊先の方とのお別れに涙する生徒もあり感動的でした。地域ごとにバスに乗り、唐津のサービスエリアで全クラスが集合し、博多駅に向かいました。随分疲れているとは思いましたが、新幹線の中ではおやつを食べカードゲーム等に興じるなど元気に過ごしました。そして予定を少し遅れて午後6時30分に新大阪に到着し、そこからバスに乗り換え、午後7時40分に帰校して全行程を終了しました。

3日間を終え、学年目標とした「画竜点睛」の言葉どおり、生徒たちは義務教育最後の宿泊行事を締めくくるのにふさわしい活動や振る舞いができていたように思います。持ち物違反が全くなかったことや、先述の被爆体験の聞き取りに臨む真剣さ、班活動における協力体制、そして各地でお世話になった方々への感謝の気持ちの表し方など、あらゆる場面でこれまで学んできたことの集大成を意識していることが感じられ、それがとても嬉しかったです。この後の学校生活は進路決定に向けてしんどいことも多くなりますが、修学旅行をとおして深まったチームワークの良さを生かして78期生みんなで乗り越えていってほしいと思います。

3日間本当にお疲れさまでした。

